

---

---

# 京大上海センターニュースレター

第 14 号 2004 年 7 月 19 日

京都大学経済学研究科上海センター

---

---

## 目次

### ○ 最近の中国マクロ経済情勢: 機会と挑戦

\*\*\*\*\*

#### 最近の中国マクロ経済情勢: 機会と挑戦

(7/2 上海センター・シンポでの于同申中国人民大学経済学院教授のご報告)

#### 改革開放政策がもたらした経済成果について

計画経済から市場経済へ、自給自足の農業経済から工業化経済へというふたつの大きな変化があった。その中で、持続的高度成長を達成し、過去 25 年間の平均成長率は 9% となった。この間、政府のマクロ経済政策は時に積極財政を行い、時に物価安定を優先することによって安定した経済成長に貢献したし、民間の高い貯蓄率も経済成長に大きな貢献をした。

対外経済的には、過去 10 年間の貿易の伸張、経常収支の黒字化と高い外貨準備額も重要であった。人民元の安定も他のアジア各国のような混乱を招かなかった大きな原因となっている。

#### 改革開放政策の回顧と中国経済が直面する新たな挑戦

この間の改革開放政策を回顧すると、

- ①資本市場創出：1991-2000 年の間、企業による 4800 億元（約 580 億 USD）の調達
- ②国有企業改革：経営権と経営責任の確率、産業構造の合理化、生産効率と生産性の向上、企業合併と倒産による体質強化、民間資本と外資の導入による国有企業の改革の加速
- ③金融業の改革：中国人民銀行（PBOC）、中国証券監督管理委員会（CSRC、証監会）、中国保険業監督管理委員会（CIRC、保監会）による金融業監督管理体制の刷新 改革目的：健全かつ効率的な銀行業体制の建設 措置：1) 政策銀行の設立 2) 国有商業銀行に対する増資と不良債権の剥離、3) 国有商銀の上場準備の奨励

- ④社会保障体系の建設：年金、失業、医療保険制度の導入

- ⑤税収体制の強化：過去 9 年間連続の税収増、外債返済能力の増強

と動いてきたことを知ることができる。この上で、今後の挑戦と展望は次のとおりとなる。すなわち、

- ①市場経済の円滑な運行に必要な法体制の改善と増強

- ②沿海部と内陸部との経済格差、都市と農村の収入格差の是正

- ③産業構造の合理化、新規産業の育成、消費の拡大（自動車及び住宅による）

- ④国有企業と金融業の構造改革の深化、国有商銀の不良債権問題の解決と銀行体制の健全化

⑤21世紀の国際貿易における中国の立場の改善と強化、労働集約型製品の輸出から技術集約型製品或いはサービスの輸出への転換である。

#### 最近のマクロ経済情勢について

最近のマクロ経済情勢について、次の4点が重要である。すなわち、

- ①対外貿易赤字について、WTO加盟との関連、対外貿易の均衡化、中国製品に対するダンピング提訴の増加がある。
- ②インフレと失業について、一部産業の過熱化によるインフレ発生の危険（鉄鋼業を例に）、都市部失業率の上昇と農村部の余剰労働力の増加がある。
- ③人民元レートの調整問題がある。
- ④健全な財政運営について、財政赤字と国債の増発が経済の長期的成長に及ぼす否定的な影響の問題がある。

#### 結論として述べられたこと

- ①改革開放以来の経済成長を肯定的に評価し、今後もこの成長の勢いが保たれるであろうとの予測
- ②一部産業の過熱化は経済全体に悪影響を及ぼす恐れがあるため、現在、政府が有効な抑制政策を打ち出しているとの指摘。
- ③貿易赤字の出現は、世界経済における中国の役割の変化と捉えられること。

(以上文責 ニューズレター編集事務局 大西広)

\*\*\*\*\*